



国指定重要文化財の本陣・脇本陣を生かした町屋風の美術館へ

やかげ郷土美術館は、江戸時代に山陽道有数の宿場町としてにぎわった矢掛の町並みと調和するように平成 2 年 11 月に開館しました。町屋風な美術館として赤松を使い、太い梁を生かした建物は木の温もりを感じさせ、平成 13 年オープンした淡水魚のポケット水族館コーナーとともに心和む空間となっています。常設展では、田中塊堂（書家）と佐藤一章（洋画家）をはじめ郷土出身作家の作品を展示し、年に 4 回ほどの企画展を開催しております。町民の芸術・文化活動の拠点として、地域に愛される美術館を目指しています。

◆ 施設のおすすめ

やかげ郷土美術館では、町民ギャラリーという展示スペースを、一般の方にもご利用いただける施設としてお貸ししております。矢掛町内に住んでいる方でしたら、無料で会場を使うことができるので、作品発表や活動紹介の場としてご利用いただけます。また、当館の象徴である水楼をモチーフにした高さ 16 メートルの水見やぐらの廻り階段を上ると、最上階からは矢掛の町並みを眺めることができます。

◆ 子どもたちへのメッセージ

美術館は世界にひとつの作品に出会える場です。もし、やかげ郷土美術館をはじめ、ほかの美術館を訪れたときにみなさんがワクワクしたり、ドキドキしたりする作品に出会えた時には、お父さんお母さんやお友達、美術館の人にぜひ教えてあげてください。



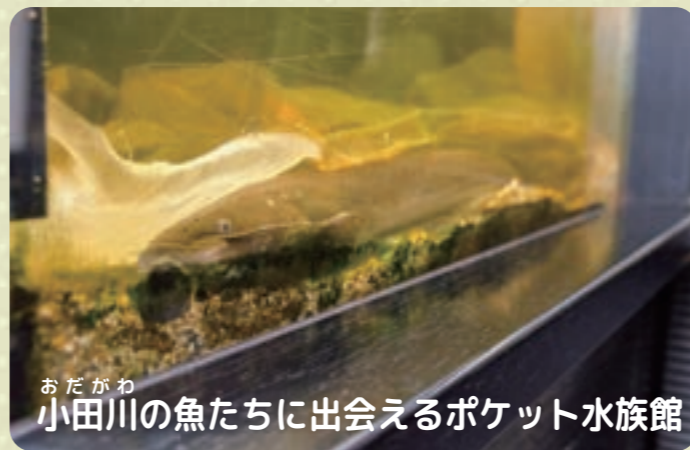
やかげ まちな もけい  
矢掛の町並み（模型）



だいまうぎょうれつ わしにんぎょう  
大名行列の和紙人形



やかげ れきしてきしりょう  
矢掛の歴史的資料写真



おだかわ  
小田川の魚たちに出会えるポケット水族館



みすみ  
水見やぐら